

事務事業名		シティプロモーション推進体制整備事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当	担当部	総合政策部	担当課	都市ブランド推進室
	政策	2 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり					組織	担当係	ブランド戦略係	担当課長名	落合 武史
	施策	3 都市ブランド戦略の推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 推進体制の整備					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	1303	一般	2	1	7	シティプロモーション推進体制整備事業					
	事業区分						市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
事業計画	単年度繰り返し		事業期間	27年度～ 年度		根拠法令 条例等	任意的事業・義務的事業		任意的事業		
							実施方法		直営		
							事業分類		その他市民に対する事業		
						リーディングプロジェクト		該当			
						市長マニフェスト		3-9			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)							
佐野市のキャラクターである「さのまる」を活用したシティプロモーションを推進し、多くの市民が「住みやすい」「住み続けたい」と思えるようなまちづくりを進めるため、市民意識の醸成と地域力の強化、庁内推進体制の確立、市民・企業・団体・大学等との連携、自治体間の連携などを行い、郷土愛を醸成させ「地域力」の向上を図る。			佐野市シティプロモーション推進基本計画に基づき、全市的なシティプロモーション推進体制を整備した。 ・佐野市シティプロモーション推進本部の運営 ・佐野市シティプロモーション懇談会の運営 ・シティプロモーション自治体等連絡協議会への参画 ・株JTB関東からの職員派遣による、民間のノウハウを生かしたシティプロモーションの体制づくり ・その他、推進体制整備に関すること							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
			佐野市シティプロモーション推進本部 会議開催回数	回			2	3	5	
			佐野市シティプロモーション推進本部 観光専門部会 会議開催回数	回			1	1	3	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
市民・企業・団体・大学等			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
			佐野市シティプロモーション懇談会 参加団体	団体			12	12	14	
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
さのまるの活躍により芽生えた市全体の一体感を引き続き持続できるよう、推進する体制を構築する。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	
			シティプロモーション関連ホームページ年間アクセス数	件			366,600	211,184	400,000	
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
佐野市に住み続けたい、暮らしてみたいまちにする。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	
			市区町村の全国認知度ランキング(全国1000市区町村)	位			399	415	50	
			市区町村の全国魅力度ランキング(全国1000市区町村)	位			365	609	150	
			佐野市に住み続けたいと思う市民の割合	%			80.8	79.2	86	

(2) 総事業費の推移・内訳

投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円			258	1,546	11,019			
	事業費計(A)	千円	0	0	258	1,546	11,019			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
					報償費	50	報償費	25	報償費	80
					旅費	38	旅費	33	旅費	350
					需用費	20	需用費	6	需用費	7
					負担金、補助及び交付金	150	役務費	32	役務費	32
							負担金、補助及び交付金	1,450	負担金、補助及び交付金	10,550
	人件費	人			2	2	2			
	のべ業務時間	時間			1,200	1,200	1,200			
人件費計(B)	千円	0	0	4,673	4,610	4,610				
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	4,931	6,156	15,629				

事務事業名	シティプロモーション推進体制整備事業	担当部	総合政策部	担当課	都市ブランド推進室	担当係	ブランド戦略係
-------	--------------------	-----	-------	-----	-----------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	少子・高齢化を背景に自治体の活力の維持を目指した取組みが全国的に展開されている。このような状況の中、佐野ブランドキャラクター「さのまる」が2013年ゆるキャラグランプリで優勝したことから、「さのまる」を活用したPRを積極的に行い、また、平成26年度に「佐野市シティプロモーション推進基本計画」を策定し、シティプロモーションを推進する体制整備を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	全国的な少子高齢化を背景に、地方公共団体が活力を維持するための活動は益々激しさを増している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	「さのまる」を活用した佐野市のPRを積極的に行うべきであり、庁内だけでなく、市民・団体等と連携してプロモーションを行うことが必要であるとの意見がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取り組み
やり方改善(成果向上の見直し)	(株)JTB関東から職員を派遣することにより、全庁的なシティプロモーションの体制づくりを進めた。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	基本事業に「推進体制の整備」が位置づけられており、政策体系と結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市民・関係団体等と連携した体制を構築するためには、市がシティプロモーション推進戦略に基づき先導して調整を進める必要がある。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	行政だけの取組では、シティプロモーションの効果は限定的なものになってしまう。効果的かつ継続的に佐野市の魅力を発信するため、市民・企業・団体・大学等と連携し、「オール佐野市」でのシティプロモーションを推進することが求められる。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	市民・関係団体等とより連携した体制が構築できれば、プロモーションの幅が広がり、より効果的な戦略を推進できる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	類似事務事業名	
	* 類似事務事業があれば、名称を記入	理由・改善案		
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	強固なシティプロモーション推進体制を整備するためにも事業費を縮小することはできず、コスト削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	受益者は主に市民であるが、市側は市民にプロモーションへの協力を仰ぐ立場であり、受益者負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 推進体制が構築されても、その体制維持のために本事業は継続しつづけることが求められるため、休止・廃止は難しい。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
やり方改善(成果向上の見直し)(有効性④の結果)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	市民・関係団体等とより連携を進める																					
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	
					コスト																			
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
市民・関係団体等とより連携した体制の検討																								